

CNF技術を利用した 住宅・非住宅用内装建材の開発

Development of interior building materials for residential and non-residential use utilizing CNF technology

脱炭素 / 建材

decarbonization / building-materials

研究開発の概要 Research Highlights

■ CNFのコストダウンのニーズ

炭素固定の促進にCNFの活用が望まれています、コストの高さが普及のネックになっています。

■ CNFを基材として用いた内装建材用材料の開発

建材の基材へCNFを活用することで、CNFの大規模需要の創出と高付加価値製品の市場投入を狙っています。

■ 耐水・耐湿性の向上と床材への適用

樹脂板の製造で培った技術により、CNF成形板の水・湿度による寸法変化の抑制に成功しました。
内装建材の加工技術を活かし、CNFを使った床材を開発しました。

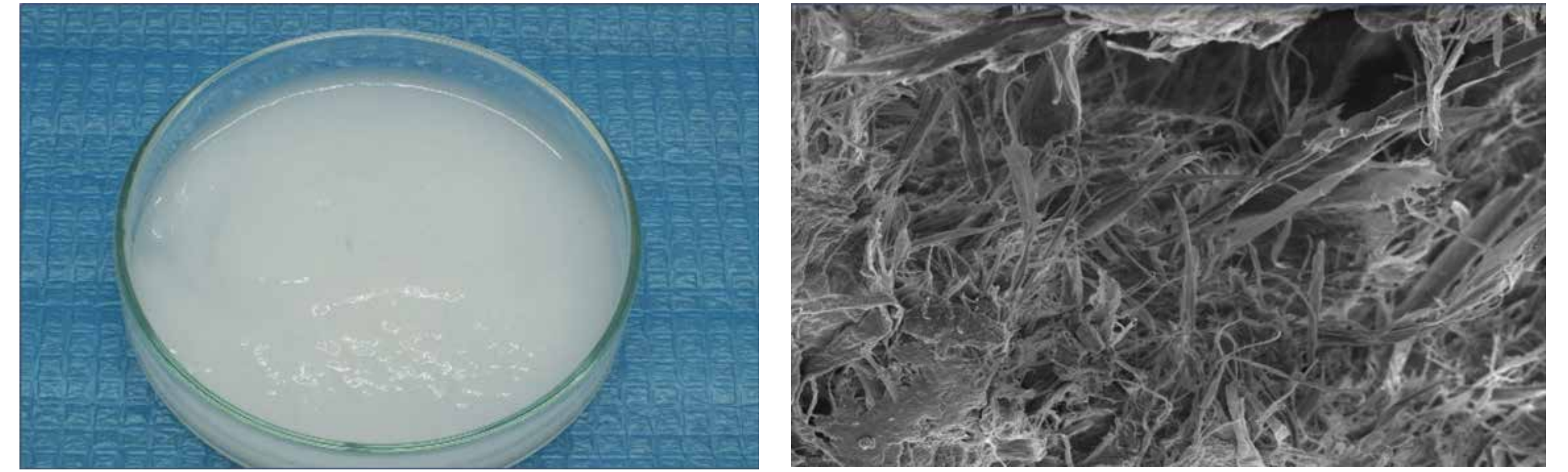
■ 用途拡大、コスト削減

CNFを使った内装建材の更なる商品開発を継続し、CNF成形板のコスト削減を目指します。

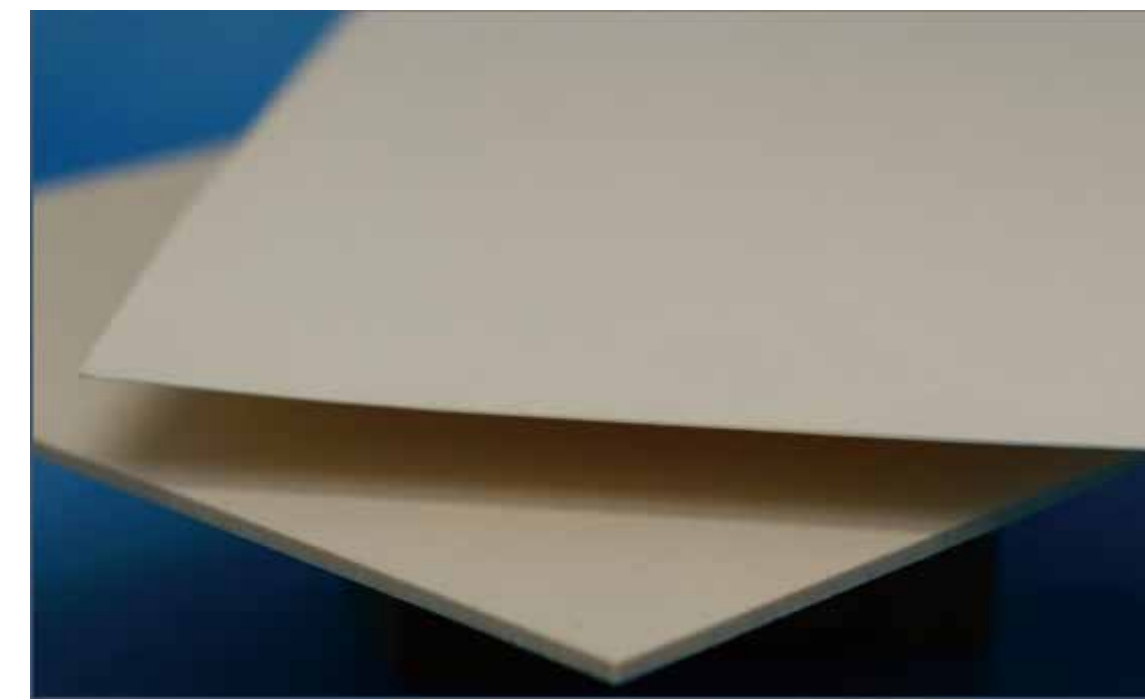
来場者に向けて For Visitors

本事業により開発したCNF成形板の内装建材への適用拡大、建材以外への展開により、脱石油化への貢献が期待できます。CNF成形板の活用、建材の石油資源依存度の低減へのマッチングを模索しています。

CNFの成形・樹脂含浸技術
Molding and resin impregnated technologies for CNF



cellulose nanofiber (CNF)

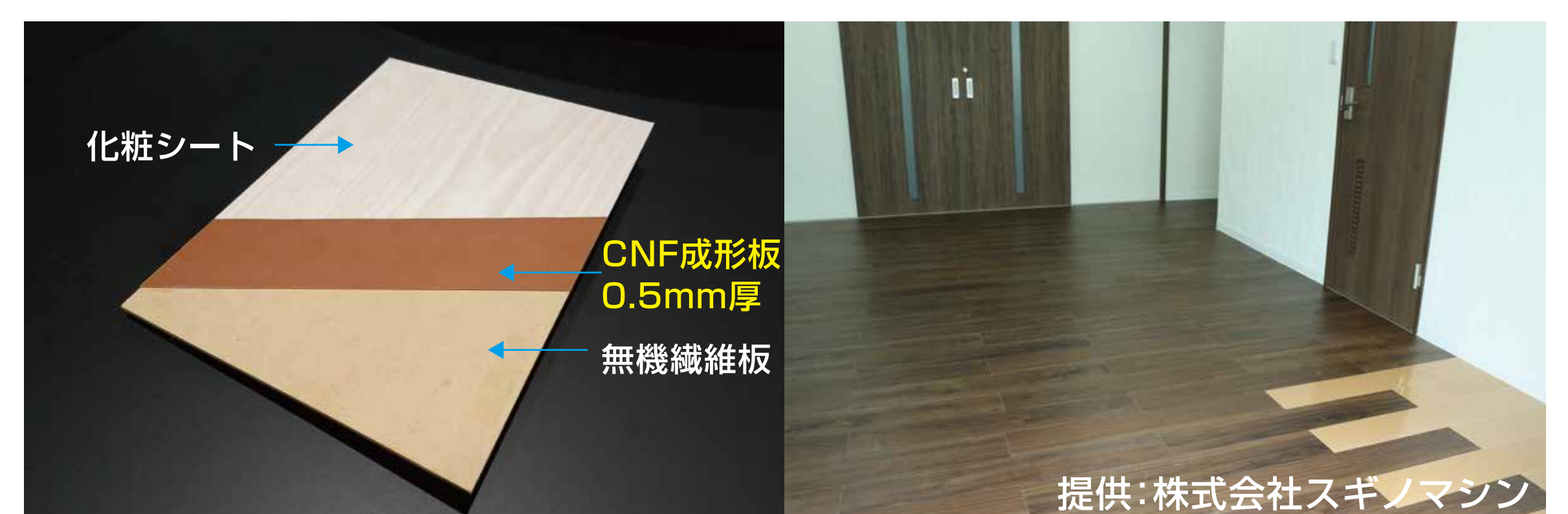
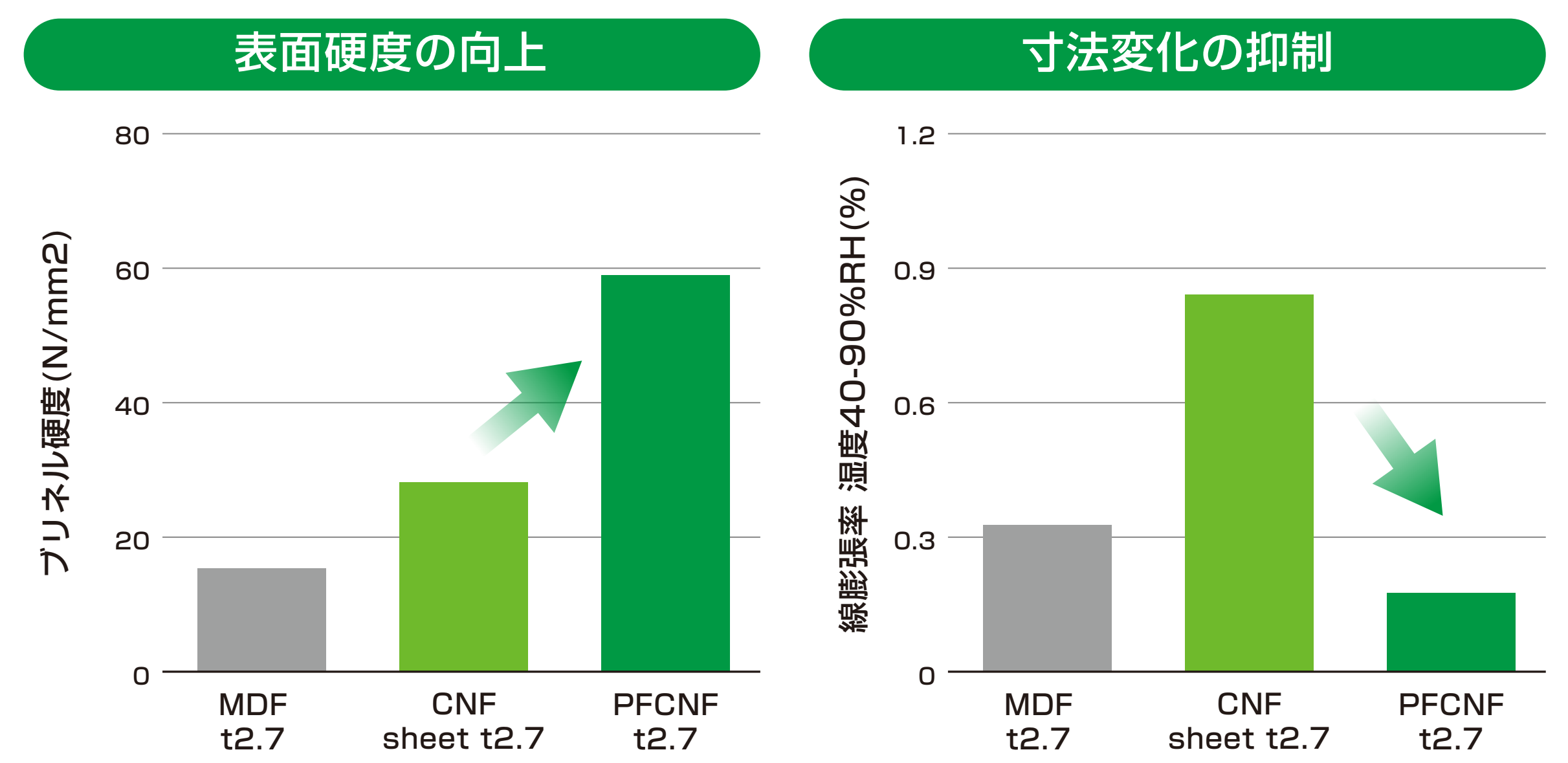


100% CNF sheet



Resin-impregnated CNF sheet

樹脂含浸CNF成形板(PFCNF)の特性
Properties of the resin-impregnated CNF sheet



樹脂含浸CNF成形板(PFCNF)の特性
Properties of the resin-impregnated CNF sheet

提供:株式会社スギノマシン

関連サイト

利昌工業株式会社
<https://www.risho.co.jp/>



大建工業株式会社
<https://www.daiken.jp/>



NEDOプロジェクト名称 炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発 / CNF利用技術の開発

実施期間 2020年度 ~ 2022年度

問い合わせ先

利昌工業株式会社 開発本部 先進材料開発室 Mail: Hiroshi_Okumura@risho.co.jp

大建工業株式会社 R&Dセンター 開発企画担当 Mail: ishiguro-shigeki@daiken.co.jp